

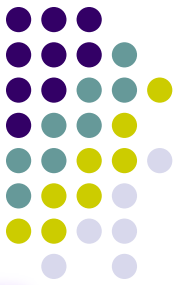
# 『泣ける！広島県(T▽T)』の新たなワークスタイルへ向けた挑戦



広島県CIO  
(Chief Innovation Officer)  
桑原 義幸



# ビジョンと戦略



## ビジョン実現のための目標, 戦略および実現のための取組事項

ビジョン

『クール&スマート広島』  
～ITを駆使し、クールでスマートな電子行政の実現～

目標

自治体のベストプラクティスとなる  
(他自治体からの視察やマスコミ取材等, 第三者からの評価を受ける。)

戦略

機動性  
Mobility

柔軟性  
Flexibility

共有化  
Knowledge Management

可視化  
Governance

取組事項  
(to do)

ワークスタイルの変革

- ・Web会議システムの導入
- ・リモートアクセスの導入
- ・スレートデバイスによるペーパーレスの実現
- ・シンクライアントシステムによる機動性向上

フリーアドレス制の導入

更なる最適化の推進

- ・庁内情報システムの更なる可視化による無駄の排除
- ・ガバナンス態勢の構築
- ・ナレッジマネジメント(知識・情報の共有・活用)の推進<sup>2</sup>

# ワークスタイルの変革イメージ



## 〈これまで〉



- 固定された環境
- 大量の紙や印刷物が必要
- 自席に戻らないと仕事がしにくい

## 〈今後〉

クラウドで人、デバイス、アプリ、環境が繋がる世界

➢ クラウド

人中心の環境

➢ 携帯端末



モバイル



在宅勤務



Web会議



地方機関

経営・幹部会議室

- 庁内外でのモバイルワークが可能に
- 出張等移動時間の有効活用
- 仮想PCによる革新的な環境
- 紙や印刷物は不要に(ペーパーレス化の推進)
- グループウェアを活用した情報共有
- Web会議や携帯端末などを使った効果的なプレゼンや現場での業務支援

# 導入の目的

## ①ワークスタイルの変革による業務能率の向上

- ・「いつでもどこでも、同じ生産性で同じ情報にアクセスでき、同じ応答性が得られる環境」の更なる整備を図り、ワークスタイルを変革する。
- ・フリーアドレス制の導入、ペーパーレス会議の実現などの業務能率の向上
- ・モバイルワークを実現し、外出時等における業務能率の向上（場所や時間にとらわれない柔軟な業務形態を実現する。）
- ・生産性の向上（事務作業時間の削減）

## ② 安全性・信頼性の確保

- ・情報漏洩の防止、コンピュータウイルスの感染防止などの情報セキュリティの強化
- ・業務継続性の確保（災害時等における業務継続・業務復旧が容易〔場所を変えての業務執行が可能〕な環境構築）
- ・内部統制・ITガバナンスの強化（サーバで一括データ管理）

## ③組織運用管理の効率化

- ・印刷コスト等の削減
- ・消費電力が少ないシンクライアント端末の導入による省エネルギー化の実現（電力消費量と発熱量の削減）

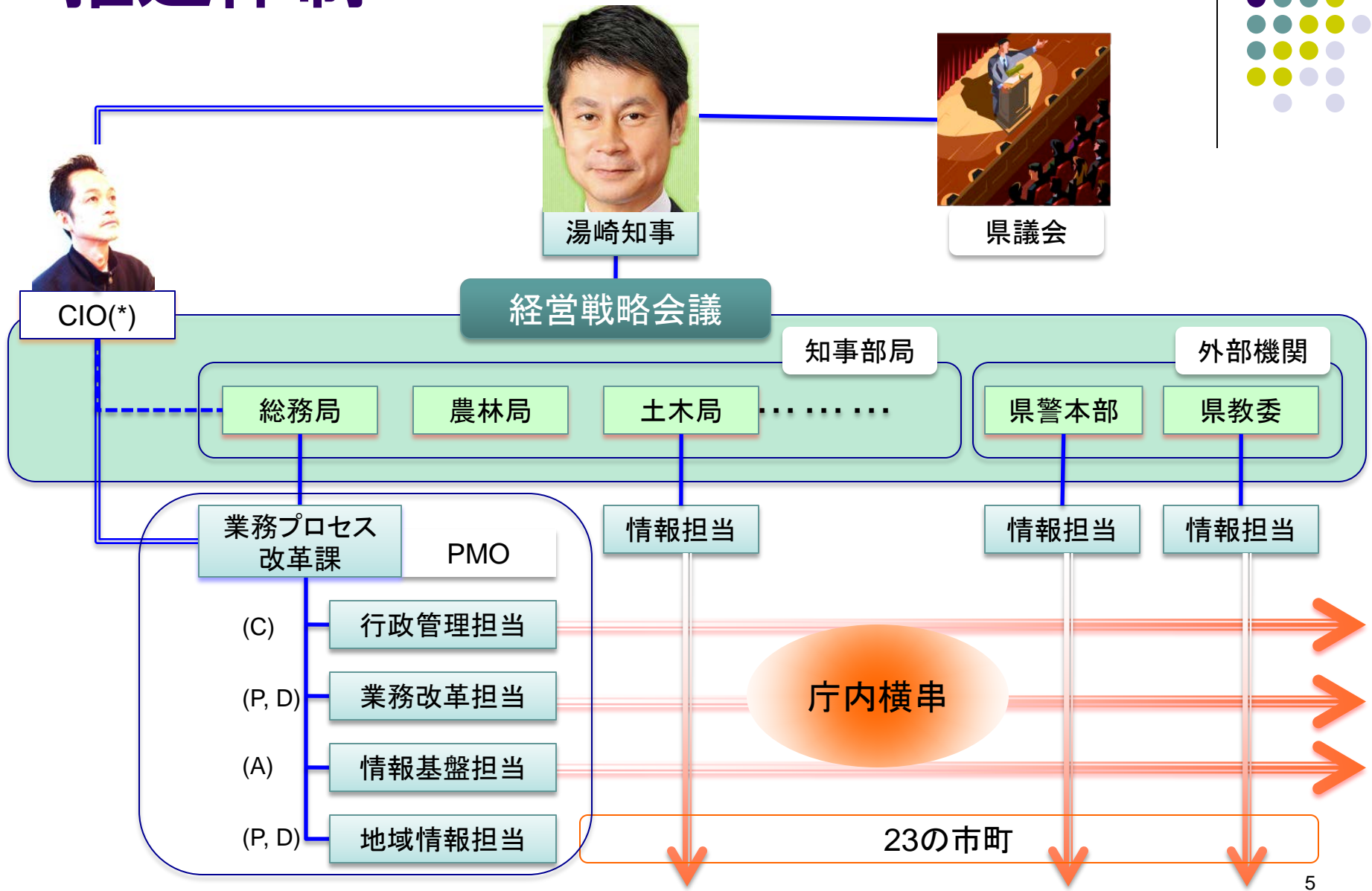
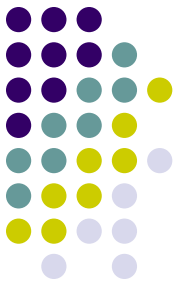


業務実態や所要経費等を勘案し、最も導入効果が高いと考えられる部署へ配備

- ・商工労働局（本庁）（250台） ※ 現行のデスクトップ型端末に換えて
- ・平成25年11月〔無線LAN環境整備(庁内)・モバイルルータ配備(庁外)〕



# 推進体制



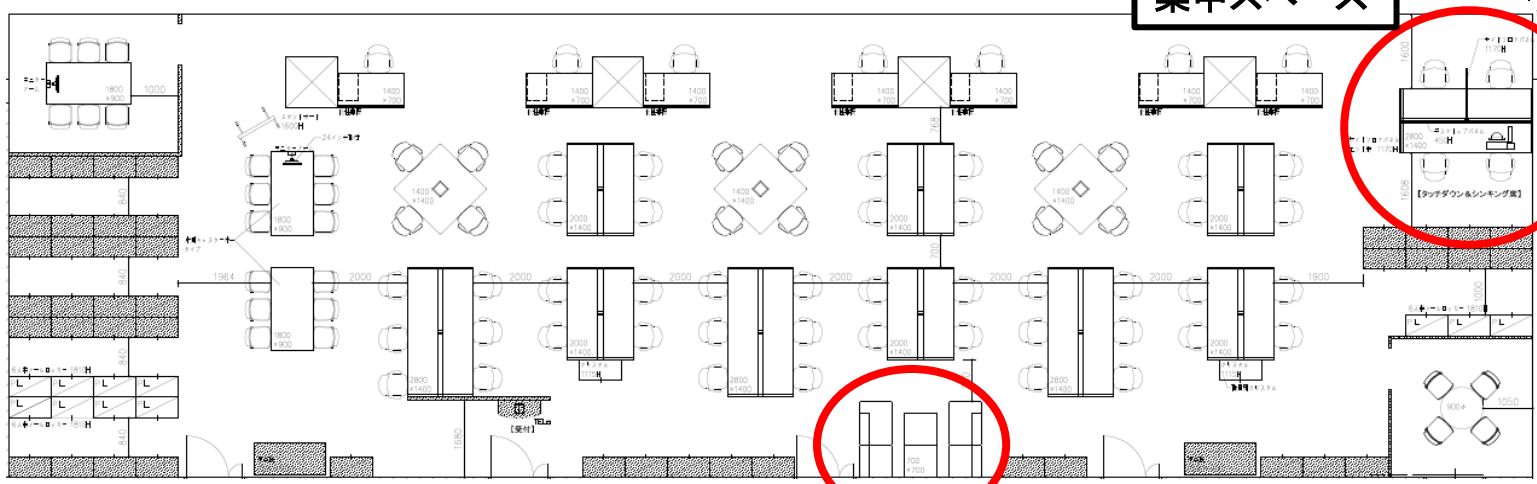




# 【フリーアドレス導入後】



集中スペース



全体風景



ソファース席

